

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

2018. 3. 7

JAL闘争を支える京都の会News No. 59

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

稲盛和夫 JAL 名誉顧問と JAL 植木社長は解雇した 165 名を一日も早く職場に戻せ！

JAL 植木社長「自分の代で、
解雇争議を解決したい」と発言

JAL 闘争を支える京都の会 稲盛氏の自宅に近い 伏見・大手筋商店街で宣伝行動

本年1月12日、組合との経営協議会で、植木社長は「(解雇問題を)自分の代で解決したいと思っている」と発言しました。その直後、4月1日からの社長交代が発表されました。植木社長は自らの発言を実行し、社長交代の前に解決の決断をするべきです。

この植木社長の発言は稲盛 JAL 名誉顧問が植木社長に「君が社長の内に争議を解決しろ」と指示した可能性はあります。3月中に稲盛氏と植木氏に解決の決断をさせるため、「JAL 闘争を支える京都の会」は3月3日、稲盛氏の自宅に近い伏見・大手筋商店街で宣伝行動をおこないました。JAL 客乗原告団の小森啓子さんにも参加していただきました。きょうとユニオンの方にも参加していただきました。

左右の商店一軒、一軒にビラを手渡し支援をお願いしました。



(ウラ面に続く)



「2018年春・労働争議支援京都総行動」に JAL原告団参加！

2月16日、「2018年春・労働争議支援京都総行動」が京都総評、JAL闘争京都支援共闘などを中心におこなわれ、JAL原告団が参加しました。「JAL闘争を支える京都の会」からも参加しました。

四条烏丸での昼休み宣伝ではパイロット原告団の山口宏也団長が「植木社長に影響力を持つ稲盛和夫JAL名誉顧問の争議解決への尽力を要請する。」とあいさつ



したあと、要請団が稲盛財団に要請書を手渡しました。午後からは京セラ本社前で宣伝行動をおこない、要請団が稲盛和夫・JAL名誉顧問への要請書を総務部担当に手渡しました。最後に参加者全員で京セラビルに向かって不当解雇を撤回せよと、怒りのシュプレヒコールをおこないました。夜は再び四条烏丸で他の争議団とともに宣伝行動をおこない、この日の行動を終えました。